

## いよいよ、来週は職場体験です。

少しずつ暑くなってきましたが、職場体験の日がやってきました。体調を整え、実のある体験をしてきてほしいと思います。さて、職場体験の意義をもう一度確認させていただきたいと思います。

### 〈目的〉

- (1) 実際の職場で働くことを体験して仕事というものを肌で感じ、まじめに働くことの大変さや喜びを知り、自分の身近な課題として職業を考える。
- (2) 職場で必要な技能や職業人としての態度を学び、自分の興味関心や能力、適性と比較してこれから自分が身に付けるべきことを考え、進路選択につなげる。
- (3) これまでに身に付けた知識・能力・態度を生かして、自ら考え、学びながら職場体験に取り組むことにより、問題を自分の力で解決する能力を伸ばす。

さて、協力してくださる事業所は限られています。毎年協力してくださるところもありますし、光が丘第一中学校ならばと行ってくださるところもあります。定休日なので見送ったところもあります。希望調査をとりましたが、希望通りの事業所にならなかった人もいます。大切なのはたとえどこであれ学ぶという気持ちだと思います。事業所の方にとって、これは義務ではありません。多くの方のご協力のもと職場体験が成り立っています。

それぞれの事業所での仕事を学ぶのではなく、体験の中から働くことの大変さや大切さなどを学び、自分の将来へつなげていってほしいと思っています。

—そうした中、事業所の方が食事を出してくれたり、おみやげをくれたりとか、働いてくれたお礼として何かをくれたりなど、いろいろいただくこともあるかもしれません。でも、それは当たり前ではありません。目的が違いますし、こちらからお願いして、やらせていただくのですから何も無いのが当然です。むしろお礼をしなければいけないのは、こちら側です。もし、何かいただくようなことがあれば、「ありがとうございます」と感謝すべきものであり、また気安くもらうのではなく、遠慮するという奥ゆかしさが人として必要なのではないのでしょうか。物をもらいにいくような気持ち、感覚では浅ましい限りです。

君たちのことを考えて、本当の意味できちんと体験させてくれるのは、目に見えるものをくれる職場ではありません。

体験が終わるといつもとは違い、疲れて帰ってくることでしょう。また話したいこともたくさんあると思います。ご家庭でよく聞いてあげてください。職場体験を通してどういう人になってほしいのかを伝えられる機会でもあると思います。

最後に繰り返しになりますが、それぞれの事業所では社会貢献の一環として協力して下さっています。宣伝のためにやっているわけではないではありません。そのことを忘れずにしっかりと学んでほしいと思います。